

株主・投資家の皆さまへ

リンガーハット株主通信

2009年3月1日～2009年8月31日

Vol.8



RHD

株式会社リンガーハット

日本の野菜を食べる。

7種類



第1弾

野菜たっぷりちゃんぽん

国産野菜

一杯

480g

<http://www.ringerhut.co.jp/>

証券コード: 8200



2012年の創業50周年に向けて、品質に磨きをかけ、お客さまの満足度を向上し、健全な企業体質を構築します。

米濱 和英

代表取締役会長兼社長
米濱 和英

当第2四半期累計期間の業績

世界的な景気後退の影響を受け、雇用情勢の悪化、個人消費の低迷など、厳しい経営環境に加え、私たちにとって最大の繁忙期である夏休み期間において、九州地区を中心に長梅雨や集中豪雨などの天候不順が続き売上が伸び悩んだことと、昨年10月からの長崎ちゃんぽん業態のクーポンによる販売促進活動の中止により、既存店売上前年比は89.5%と厳しい結果となりました。また、不採算店50店舗の閉店の影響もあり、前年同期と比較して売上高は22億93百万円減少しました。しかし、クーポンの廃止や不採算店舗の閉店は収益性の向上のためであり、『リンガーハット』『浜勝』ともに売上高の減少は底を打ったものと捉えています。

一方、利益面においては、原材料仕入価格の下落や自社工場での内製化による売上原価低減、販売促進費や本部経費の削減ならびに不採算店舗閉店によるコスト削減が進んだことにより、大幅な増益となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の連結売上高は159億54百万円(前年同期比12.6%減)、営業利益は2億83百万円(同287.9%増)、経常利益は2億19百万円(同3,317.8%増)、四半期純利益は1億45百万円(前年同期は

純損失13億43百万円)となり、減収でも増益となる強固な企業体質の基盤ができてきたと実感しています。

50周年に向けた3つの取り組み

私たちは「品質に磨きをかけ、顧客満足度を向上させ、健全な企業体質にしよう」という第46期スローガンを掲げ、「おいしい商品を快適な空間でご提供する」という飲食店経営の原点に立ち返り、お客さまに「選ばれる店舗」を目指していきます。

1. お客さま満足度とQSCの向上

この取り組みに対して、全店において顧客満足度調査^{*1}を実施しました。全体的には活動開始前よりQSC^{*2}が向上しているものの、課題も見えてきました。その課題で注目すべきポイントは「お出迎え」の印象であり、この印象がその他の評価に影響することがわかりました。「お出迎え」の印象については、店内の形状であったり、スタッフの人数であったり、複合的な理由が考えられます。このように調査結果を分析した上で各店舗にフィードバックし、迅速に改善活動につなげていきます。

^{*1} お客さまの店舗体験におけるQSC各項目の満足度について、パソコン・携帯電話からの回答を24時間態勢で受け付けるシステム

^{*2} QSC: Quality(品質)、Service(サービス)、Cleanliness(清潔さ)

3つの取り組みの進捗

当第2四半期

今後

お客さま満足度とQSCの向上	お客さま満足度調査を実施・分析し、各店舗にフィードバック	▶ お客さまの視点に立った「第一印象」の向上
「食の安心・安全」実現と「環境に優しい会社」へ	「日本の野菜」プロジェクトの推進、食品リサイクル率の向上、CO ₂ 削減活動の推進	▶ 10月1日『野菜たっぷりちゃんぼん』リリース、食品リサイクル率60%の達成、年間1%のCO ₂ 削減
商売の原点に戻ったビジネスの改善活動	収益性の向上を念頭においた「商売感覚」の導入	▶ 不採算店舗の削減とフランチャイズ転換の推進

2. 「食の安心・安全」実現と「環境に優しい会社」へ

「食の安心・安全」については、「日本の野菜」プロジェクトを推進しており、継続して強化していきます。また、外食産業全体として2012年に食品リサイクル率を40%にすることを目標としていますが、私たちはすでに工場では100%、会社全体では51%を達成しています。今後もさらなる向上に積極的に取り組んでいきます。さらに、CO₂の削減については、商品の品質を安定させるために導入してきた店舗調理器具のオール電化が功を奏し、業界水準^{※3}を大きく上回る削減実績(2006年度比8.1%削減)を出しています。

※3 社団法人日本フードサービス協会では2006年度に対して3か年で1.5%のCO₂削減目標を設定

3. 商売の原点に戻ったビジネスの改善活動

まさにこの取り組みが、「利益を得る」という「商売」の原点に立ち返ろうというものです。不採算店舗を閉店することによって収益構造を改革し、経営陣も含め従業員一丸となってこの危機を乗り越えようというメッセージでもあります。お客さまのニーズを捉え、商品をご提供する。この「商売」の基本に真剣に取り組んでいきます。

「日本の野菜」プロジェクト始動

私たちは、「日本の野菜」プロジェクトの第1弾として、10月1日より『野菜たっぷりちゃんぼん』の発売を開始しました。これは、日本の野菜のおいしさを存分に味わっていただきたいという想い、食の安心・安全への取り組み、日本の食料自給率の向上への貢献、さらにはフードマイレージの減少によるCO₂の削減など、私たちができていることを考えた結果です。この商品は私たちのニュースタンダードとなり、収益性の向上に貢献するすばらしい商品に成長すると自負しています。

株主の皆さまへ

当期においては、上記の3つの取り組みを徹底することによって収益性の向上を断行してまいりました。その結果、僅かではありますが、このたび復配させていただくことができました。この間、多くの株主の皆さまから叱咤激励をいただき、本当に感謝しています。2012年の創業50周年に向けて、財務体質を強固にし、商品力を徹底的に磨き、さらなる収益性の向上を目指していきます。株主の皆さまにおかれましては、引き続き当社経営へのご理解とご支援を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

2009年11月

2009年10月1日、

野菜たっぷりちゃんぽん登場!

新商品を支える**3**つの取り組み



2009年10月1日、私たちリンガーハットは新商品「野菜たっぷりちゃんぽん」をリリースしました。「野菜たっぷりちゃんぽん」は、使用するすべての野菜の国産化にこだわり、リンガーハットのニュースタンダードとなる商品の第1弾です。「野菜たっぷりちゃんぽん」の実現に欠かせない「日本の野菜」の「確保」「加工」「運ぶ」という3つの取り組みをご紹介します。

「日本の野菜」を確保する!

『野菜たっぷりちゃんぼん』のみならず、当社グループで使用するすべての「生野菜」を「日本の野菜」に切り替えるために、私たちが最初に取り組んだのは、野菜を確保することでした。野菜をすべて国産化する場合、国内市場から調達するだけでは必要となる野菜を確保することができません。したがって、契約栽培をしていただく農家の皆さまの協力が必要不可欠です。私たちはすでに23年前からキャベツの契約栽培に取り組んできており、

多くの契約農家の皆さまの協力を得てきました。この取り組みを一層深化させ、契約農家の皆さまに『野菜たっぷりちゃんぼん』などで使用する野菜の栽培にも着手していただき、野菜を確保するとともに、食の安全も確保しています。



「日本の野菜」を加工する!

「日本の野菜」へのこだわりは、「味」「食感」「鮮度」の追求と言い換えることができます。この3つの要素を満たすために、私たちは野菜の加工工程に着目しました。野菜は切り方一つで「味」「食感」「鮮度」が大きく異なります。使用する野菜の一つひとつについて、もっとも「味」がよく、しゃっきりした「食感」を保ち、「鮮度」が維持できる加工方法を研究しました。さらに研究された方法を自動化するために、野菜の加工機械の開発にも注力

しています。最良の加工方法を自動化することによって、フレッシュで美味しい「生野菜」の品質を高い水準で一定に保つことが可能となり、コスト削減や作業効率向上による鮮度の維持も可能となります。



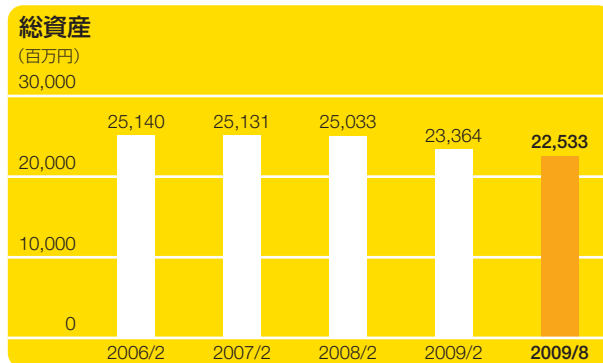
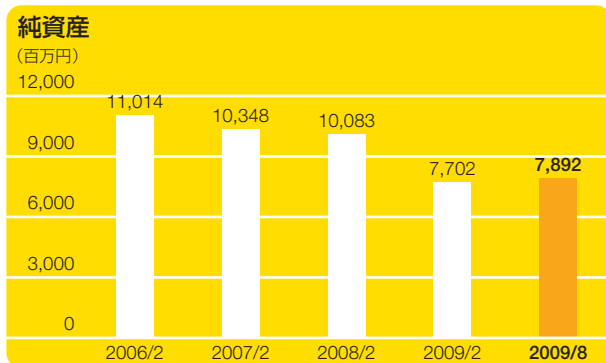
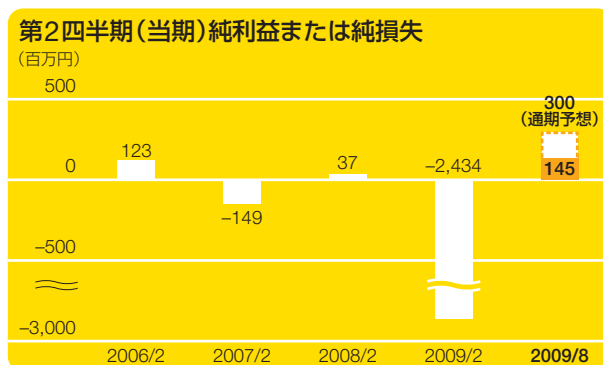
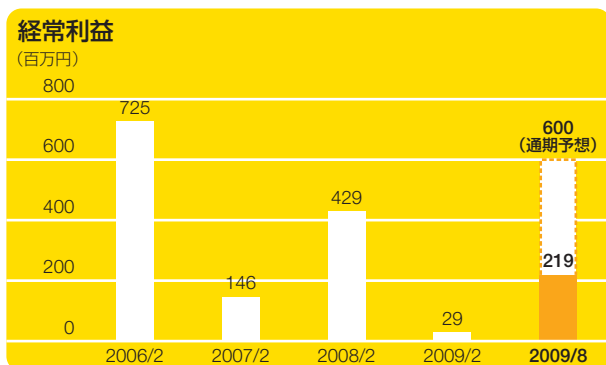
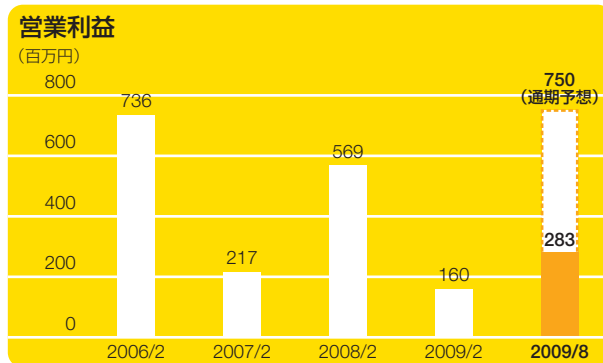
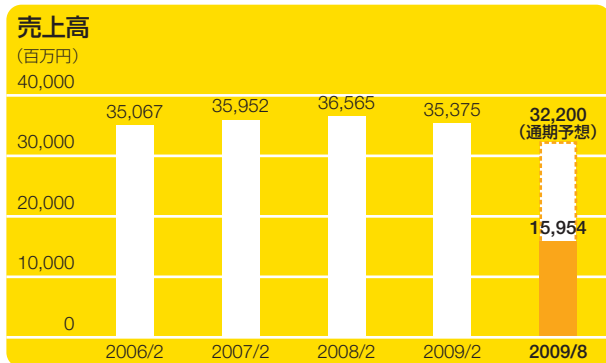
リンガーハット富士小山工場
(静岡県駿東郡小山町)

「日本の野菜」を運ぶ!

野菜を確保し、加工できたとしても、お客さまに「日本の野菜」を使用した『野菜たっぷりちゃんぼん』をベストな状態で提供できなければ意味がありません。私たちの「日本の野菜」へのこだわりは、いかに鮮度を維持したまま野菜を「運ぶ」か、ということにまで及びました。野菜を

「運ぶ」流れは2つあります。契約農家で収穫された野菜を加工する工場まで運ぶ。加工された野菜を工場から各店舗に運ぶ。私たちは、新鮮な「日本の野菜」を新鮮なうちに全店舗に届ける流通システムを整備しました。

■ 営業の概況



リンガーハット(長崎ちゃんぼん事業)

長崎ちゃんぼん事業においては、ちゃんぼん専門店としてのブランドの再構築を図り収益を向上させるため、前年度下半期よりクーポンによる販促活動を中止し、不採算店舗を48店閉鎖する等コストを最小限に抑えるとともに、店舗毎に調査結果がタイムリーに出る顧客満足度調査を活用した、QSCの向上に引き続き努めています。

また、主力商品である長崎ちゃんぼんの品質・おいしさの向上と、安心・安全な商品を提供するために、昨年9月より、野菜国産化プロジェクトに着手してきましたが、本年4月からぎょうざに使用する野菜を全店国産化するとともに、鹿児島県、静岡県では「全メニューを国産野菜100%」で先行販売し、7月からは千葉県、熊本県、一部の都心店へと拡大してきました。このように1年間にわたる準備期間を経て、15道県・約40産地の農家と連携して野菜を国内調達・商品化し、全流通できるまでのシステムを整備し、10月1日からは「国産野菜で日本を変える! 長崎ちゃんぼん!」をキャッチコピーに、野菜国産化を全店舗でスタートさせました。

また、当第2四半期累計期間では、フードコート5店、テナント2店の7店を新規出店しました。

以上の結果、売上高は109億13百万円(前年同期比14.1%減)、営業利益は2億22百万円(前年同期は営業損失1億43百万円)と減収ながら大幅な増益を達成しました。



浜勝(とんかつ事業)

とんかつ事業においても、とんかつ専門店としての原点に戻り、品質に磨きをかけ、顧客満足度を向上させる様々な取り組みを実施しています。

商品面では、期間限定の季節のとんかつを定期的に投入するとともに、定食に添える漬物や胡麻の風味など、基本商品の品質を向上させるとともに、店舗経費管理教育の強化と定着化によるコストコントロールの徹底を図りました。

また、当第2四半期累計期間では、2店を新規出店しました。

しかしながら、全111店舗の内95店と、店舗が集中する九州・中国地方において、最大の繁忙期である7、8月に長梅雨や集中豪雨などの天候不順が続き、売上高が大きく落ち込んだことが響き、売上高は48億44百万円(前年同期比8.2%減)、営業利益は4億66百万円(前年同期比28.3%減)となりました。



株主モニターアンケート集計結果報告

ご回答率

21.4%

2,858件

前期末株主さまを対象にアンケートを実施させていただきました結果、ご返送率21.4%と数多くの株主さまからご回答をいただきました。ご協力まことにありがとうございました。

当社では、この結果をもとに今後とも企業価値を高めていく努力を全力で行っていくと同時に、より一層の積極的IR活動を実施してまいります。

当社株式の保有状況について

当社株式の保有株数をお聞かせください。



当社株式の保有期間をお聞かせください。



当社株式を購入されたきっかけをお聞かせください。(複数回答可)



当社株式を購入された際、もっとも重視されたことをお聞かせください。



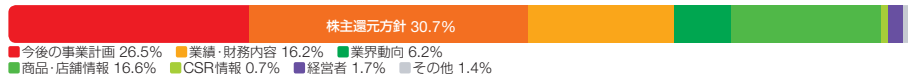
株主優待制度についての評価をお聞かせください。



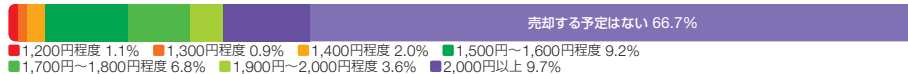
株主優待の利用状況についてお聞かせください。



当社に関してもっとお知りになりたい情報は何か?(複数回答可)



どの程度の価格であれば、当社株式の売却をお考えになりますか?



自由記述のご意見

株価について	0.6%
株式について	0.9%
配当について	13.5%
株主優待について	13.0%
経営について	1.9%
業績について	2.7%

商品について	22.0%
IR・PRについて	1.6%
株主総会について	3.5%
会社への要望・提案	23.4%
会社への期待と激励	11.8%
その他	5.2%

数多くの詳細なご意見をいただきまして、ありがとうございました。

■ ちゃんぽん応援団



野菜国産化への
挑戦を応援します!!

「日本の野菜」ちゃんぽん応援団長
小嶺 忠敏

応援団長に就任しました!

このたび、名誉ある「日本の野菜」ちゃんぽん応援団長に就任しました、小嶺忠敏でございます。

私はこれまで多くのサッカー選手を育ててきました。その中で常に選手の強化・育成のための3要素として、①食事、②練習、③睡眠の必要性を説いてまいりました。

「食事」の「食」という字は「人」を「良」くすると書くように、ケガや病気に負けない心と身体、スタミナ、闘争心、アイデア(ひらめき)などの源が「食」にあります。

「長崎ちゃんぽん」は、たくさんの栄養ある食材が含まれた素晴らしい食品です。「長崎ちゃんぽん」には、これまで活躍してきた選手たちが摂取してきた、「日本の野菜」のエネルギーがふんだんに使われています。

今回は、「日本の野菜」が詰まった、幸せたっぶりの「長崎ちゃんぽん」を全国に広めていく先がけとしたいと考えています。私は、「野菜国産化への挑戦」を応援します。



リンガーハットはV・ファーレン長崎の公式スポンサーです。

■ 株主優待制度

- 1 毎年2月末日及び8月末日現在の株主名簿に記載または記録された100株以上500株未満ご所有の方に1,000円相当の「食事ご優待券」、500株以上1,000株未満ご所有の方に6,000円相当の「食事ご優待券」、1,000株以上2,000株未満ご所有の方に12,500円相当の「食事ご優待券」、2,000株以上ご所有の方に25,000円相当の「食事ご優待券」をお送りします。
- 2 『リンガーハット』『浜勝』及び『長崎卓袱浜勝』の各店舗でご利用いただけます(券売機店舗での優待券ご使用時には店員までお声掛けください)。
- 3 「食事ご優待券」は、「長崎ちゃんぽんセット」、「長崎皿うどんセット」、「卓袱浜勝角煮」、「角煮饅頭」などの自社製品とのお引換もご用意しています(但し11~1月、6~8月の期間限定、お引換は優待券6枚からの受付となります)。
- 4 「食事ご優待券」の有効期限は優待券裏面に記載しています。
- 5 インターネット上の「リンガーハットグループオンラインショッピング」及び「和華蘭オンラインショップ」では優待券はご使用いただけませんので、ご了承ください。



リンガーハットの株主優待

毎年2月末日及び8月末日現在の株主さまに1回あたり	
100株以上500株未満	1,000円相当の「食事ご優待券」を送付します(2枚)
500株以上1,000株未満	6,000円相当の「食事ご優待券」を送付します(12枚)
1,000株以上2,000株未満	12,500円相当の「食事ご優待券」を送付します(25枚)
2,000株以上	25,000円相当の「食事ご優待券」を送付します(50枚)

会社情報

会社概要 (2009年8月31日現在)

会社名(英文名):
株式会社リンガーハット(RINGER HUT CO., LTD.)

設立:
昭和45年6月13日(実質上 昭和39年3月7日)

資本金:
5,028,962,934円

発行済株式総数:
21,927,972株

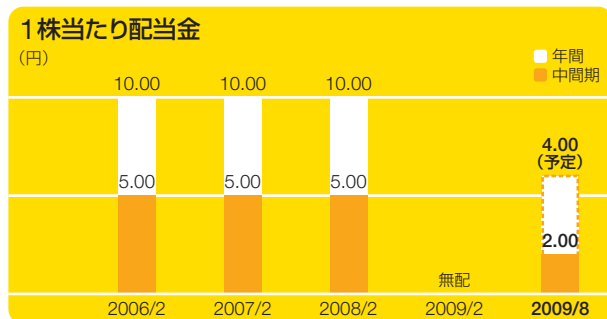
主な事業内容:
長崎ちゃんぽん専門店「リンガーハット」、
とんかつ専門店「浜勝」のチェーン展開

店舗数:
関東・東海地区 216店舗
関西・中京地区 41店舗
中国・四国地区 20店舗
九州地区 278店舗

従業員数(連結ベース):
正社員/568名 リンガーメイト・スター
(パートタイマー・アルバイト)/8,684名

お問い合わせ先:
株式会社リンガーハット総務人事部
TEL. 03-5763-9100(代表)

これまでの配当実績



株式の状況

発行可能株式総数: 46,000,000株
自己株式数: 1,667,368株
発行済株式総数: 21,927,972株
株主数: 13,364名

大株主一覧

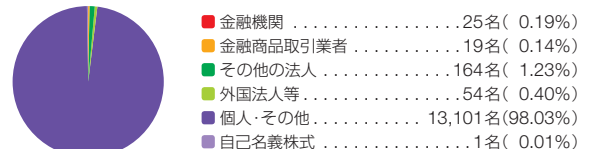
	持株数(千株)	出資比率(%)
ヨネハマホールディングス有限公司	3,315	16.36
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	1,010	4.98
株式会社十八銀行	1,005	4.96
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	644	3.18
第一生命保険相互会社	629	3.10
株式会社三菱東京UFJ銀行	535	2.64
アサヒビール株式会社	527	2.60
株式会社損害保険ジャパン	492	2.43
株式会社福岡銀行	348	1.71
麒麟麦酒株式会社	332	1.64

※1. このほか自己株式1,667千株を保有しております。

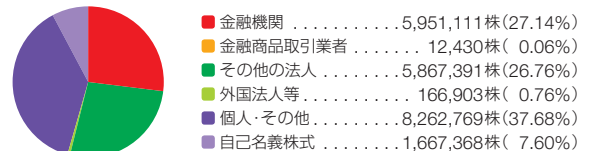
※2. 出資比率は自己株式控除後の比率です。

株式分布状況

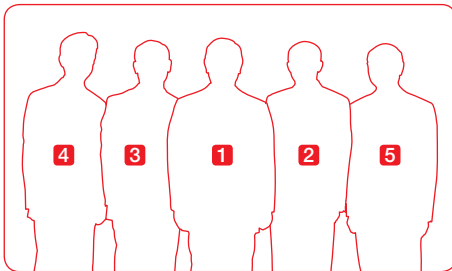
株主数別分布状況



株式数別分布状況



役員一覧



- 1 代表取締役会長兼社長
- 2 専務取締役
- 3 取締役
- 4 取締役
- 5 取締役最高顧問(非常勤)

米濱 和英
鎌田 武紀
八幡 和幸
前田 泰司
米濱 鉦二

常勤監査役
監査役(社外)
監査役(社外)

閑 敏郎
東 富士男
増山 晴英

事業年度:	毎年3月1日～翌年2月末日
期末配当金受領株主確定日:	2月末日
中間配当金受領株主確定日:	8月末日
定時株主総会:	毎年5月開催
株主名簿管理人・特定口座の口座管理機関:	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先:	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL. 0120-232-711(通話料無料)
上場証券取引所:	東京証券取引所(第1部)、福岡証券取引所 ※証券コード8200
単元株式数:	100株
公告方法:	電子公告によりこれを行います。但し、電子公告を行うことができない事故その他やむを得ない事由が生じた時は、日本経済新聞に掲載して公告します。 ※電子公告掲載アドレス http://www.ringerhut.co.jp/

- 【ご注意】1. 株券電子化に伴い、株主さまの住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関するお手続きについて

特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容		お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> ■ 特別口座から一般口座への振替請求 ■ 単元未満株式の買取(買増)請求 ■ 住所・氏名等のご変更 ■ 特別口座の残高照会 ■ 配当金の受領方法の指定* 	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL. 0120-232-711(通話料無料)
<ul style="list-style-type: none"> ■ 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ■ 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ■ 株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	株主名簿管理人	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【手続書類のご請求方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 音声自動応答電話によるご請求 TEL. 0120-244-479(通話料無料) ■ インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/ </div>

*特別口座に記録された株式をご所有の株主さまは配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容		お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> ■ 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ■ 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ■ 株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL. 0120-232-711(通話料無料)
<ul style="list-style-type: none"> ■ 上記以外のお手続き、ご照会等 	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。	



株式会社リンガーハット

東京本社 〒143-0016 東京都大田区大森北一丁目18番18号 NJビル
TEL. 03-5763-9100(代)

福岡本社 〒812-0042 福岡県福岡市博多区豊一丁目1番6号
TEL. 092-432-8700(代)